NIE実践報告

1．タイトル：新聞資料を活用してものの見方・考え方を広げる指導

2．学校名

朝倉市立甘木小学校

3．実践者名（代表者名）

満倉　育子

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　38人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞を読もう」

7．目標(狙い)

○　新聞には、広さ、身近なこと、写真、お気に入りを見つけるなど、いろいろな読み角度があることがわかる。

○　記事を読んでどんなことを伝えたい記事なのか考えたり、記事に対する感想を持ったりすることができ

8．評価の視点

新聞にはいろいろな読み方があることが分かることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞を読もう」(教科書教材：東京図書)　１１時間
〈常時活動〉　合計11時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　新聞のしくみを知る・・・１時間
2　新聞スクラップをする・・・４時間
3　スクラップ記事を紹介する・・・２時間（本時２／２時）
4　２社の記事を読み比べる・・・４時間

〈常時活動〉
校長室に新聞を置き、毎朝４人ずつ校長室で新聞を読みスクラップする。スクラップした記事をスクラップシートに貼り、新聞社名や何面の記事か、読んで思ったこと（感想）などを書き込んだ。スクラップした記事は学級の子どもたちに印刷して配り、朝の読書タイムを中心に記事を読んだり、感想を書いたり発表し合ったりした。

〈留意点〉

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・　新聞にはいろいろな読み方がある。
・　どんなことを伝えたい記事なのか考えたり、自分の感想を持ったりすることが大切である。

12．成果と課題

○　新聞スクラップ活動を継続的に行う事で、子どもたちが記事やニュースに関心を持つようになった。
○　友達が選んだ記事ということで進んで読むことができた。
「新聞を読もう」の学習をきっかけに、家庭学習でも自学ノートに新聞記事を貼り、感想を書いてくる子、ニュースを見て感じたことをまとめてくる子がでてきた。
○　親子で新聞スクラップ活動を何度か取り入れ、親子で記事について話すこともできた。
●　記事を読むが、感想を書いたり交流したりする時間は確保することはなかなか難しかった。